

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了所要単位

日本文学専攻専門科目から 20 単位以上修得したうえで、合計 30 単位以上修得する必要があります。他専攻科目の履修単位制限は行わず、修了所要単位に含めることができます。

| 履修区分 | 修了所要単位 |
|------------|---------|
| 日本文学専攻専門科目 | 20 単位以上 |
| 他専攻科目 | |
| 合計 | 30 単位以上 |

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

① 「能楽研究者育成プログラム」「文芸創作研究プログラム」について

「能楽研究者育成プログラム」「文芸創作研究プログラム」に則って学修する学生は、それぞれ授業科目担当者一覧の備考欄に「能楽研究者育成プログラム科目」「文芸創作研究プログラム科目」と表示された科目を中心に履修してください。ただし、それ以外の科目を履修することも可能です。

また、両プログラムに属さない学生が「能楽研究者育成プログラム科目」「文芸創作研究プログラム科目」を履修することも可能です。

② 「日本文学・国際日本学基礎演習」「日本文学・国際日本学論文作成基礎実習」の履修について

標記科目は、秋学期に入学する研修生、委託研修生、特別研修生を主な対象者とします。

(3) 中間発表について

7月に「修士論文中間発表会」が開催されます。

2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに履修して単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること。

【他専攻】：他専攻の学生が履修可能な科目。

| 授業科目 | 担当教員名 | 単位 | 連続 | 重複 | 他専攻 | 備考 |
|--------------|---------|----|----|----|-----|--|
| 日本文芸学 A | 一 柳 廣 孝 | 2 | ○ | | ○ | |
| 日本文芸学 B | 一 柳 廣 孝 | 2 | ○ | | ○ | |
| 日本文芸批評史 A | 田 中 和 生 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同： 近代の文芸批評 I |
| 日本文芸批評史 B | 田 中 和 生 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同： 近代の文芸批評 II |
| 日本古代文芸原典研究 A | 坂 本 勝 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同：神話と歌 I |
| 日本古代文芸原典研究 B | 坂 本 勝 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同：神話と歌 II |
| 日本古代文芸演習 A | 加 藤 昌 嘉 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 平安時代の物語 I |
| 日本古代文芸演習 B | 加 藤 昌 嘉 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 平安時代の物語 II |

| 授業科目 | 担当教員名 | 単位 | 連続 | 重複 | 他専攻 | 備考 |
|---------------------------|-------------|----|----|----|-----|---|
| 日本中世文芸原典研究A | 阿部真弓 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 書誌学と文献学Ⅰ |
| 日本中世文芸原典研究B | 阿部真弓 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 書誌学と文献学Ⅱ |
| 日本中世文芸演習A | 伊海孝充 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本中世文芸演習B | 伊海孝充 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本近世文芸原典研究A | 小林ふみ子 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 江戸の文芸と文化Ⅰ |
| 日本近世文芸原典研究B | 小林ふみ子 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 江戸の文芸と文化Ⅱ |
| 日本近世文芸演習A | 高木元 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 江戸の思想史Ⅰ |
| 日本近世文芸演習B | 高木元 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 江戸の思想史Ⅱ |
| 日本近代文芸原典研究A | 中丸宣明 | 2 | ○ | | ○ | |
| 日本近代文芸原典研究B | 中丸宣明 | 2 | ○ | | ○ | |
| 日本近代文芸演習ⅠA | 藤村耕治 | 2 | ○ | | ○ | |
| 日本近代文芸演習ⅠB | 藤村耕治 | 2 | ○ | | ○ | |
| 日本言語学原典研究A | 間宮厚司 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本言語学原典研究B | 間宮厚司 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本言語学演習ⅠA | 尾谷昌則 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本言語学演習ⅠB | 尾谷昌則 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本言語学演習ⅡA | 王安 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本言語学演習ⅢB | 王安 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本語学特講A | 古牧久典 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 現代日本語のしくみⅠ |
| 日本語学特講B | 古牧久典 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 現代日本語のしくみⅡ |
| 沖縄文芸史A | 福寛美 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 沖縄文芸史Ⅰ |
| 沖縄文芸史B | 福寛美 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 沖縄文芸史Ⅱ |
| 中国文学A | 甲斐雄一 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 中国文学B | 甲斐雄一 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本文芸特講ⅠA（文芸と音楽） | スティーヴン・ネルソン | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 |
| 日本文芸特講ⅠB（文芸と音楽） | スティーヴン・ネルソン | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 |
| 日本文芸特講ⅡA （アートマネジメント研究） | 中沢けい | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 |
| 日本文芸特講ⅡB （アートマネジメント研究） | 中沢けい | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 |

| 授業科目 | 担当教員名 | 単位 | 連続 | 重複 | 他専攻 | 備考 |
|-----------------------------|---|----|----|----|-----|--------------------------------------|
| 女性文学A | 藤 木 直 実 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同：女性文学Ⅰ |
| 女性文学B | 藤 木 直 実 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同：女性文学Ⅱ |
| 文芸と視聴覚芸術A | 越 川 道 夫 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同： 文学と映画Ⅰ |
| 文芸と視聴覚芸術B | 越 川 道 夫 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同： 文学と映画Ⅱ |
| 学際的文学論A (文学の境界領域、文学と宗教等) | アンドレ・リネベ | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 世界の日本論と日本学Ⅰ |
| 学際的文学論B (文学の境界領域、文学と宗教等) | アンドレ・リネベ | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 世界の日本論と日本学Ⅱ |
| 文学と風土A | 庄 司 達 也 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同： 文学と風土Ⅰ |
| 文学と風土B | 庄 司 達 也 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同： 文学と風土Ⅱ |
| 能楽作品研究A | 山 中 玲 子 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 国際日本学と合同：能と楽劇Ⅰ |
| 能楽作品研究B | 山 中 玲 子 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 国際日本学と合同：能と楽劇Ⅱ |
| 能楽資料研究A | 宮 本 圭 造 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 |
| 能楽資料研究B | 宮 本 圭 造 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 |
| 現代能楽論 | 山 中 玲 子 観 世 之丞 観 世 喜 正 中 司 由起子 | 2 | ○ | | ○ | 能楽研究者育成プログラム科目 |
| 日本語・日本文学の基礎A | 竹 林 一 志 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 日本語の歴史と現在Ⅰ |
| 日本語・日本文学の基礎B | 竹 林 一 志 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 日本語の歴史と現在Ⅱ |
| 表現と社会 | 内 藤 裕 之 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同 |
| 編集理論 | 仲 俣 暁 生 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 国際日本学と合同 |
| 作家特殊研究A | 温 又 柔 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 |
| 作家特殊研究B | 温 又 柔 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 |
| 文芸創作研究A | 島 田 雅 彦 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 |
| 文芸創作研究B | 島 田 雅 彦 | 2 | ○ | | ○ | 文芸創作研究プログラム科目 |
| 日本文芸特殊研究ⅠA | 坂 本 勝 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本文芸特殊研究ⅠB | 坂 本 勝 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本文芸特殊研究ⅡA | 小秋元 段 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本文芸特殊研究ⅡB | 小秋元 段 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本文芸特殊研究ⅢA | 小 林 ふみ子 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |

| 授業科目 | 担当教員名 | 単位 | 連続 | 重複 | 他専攻 | 備考 |
|------------------------|-------------|----|----|----|-----|---|
| 日本文芸特殊研究ⅢB | 小林 ふみ子 | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本文芸特殊研究ⅣA | スティーヴン・ネルソン | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅰ |
| 日本文芸特殊研究ⅣB | スティーヴン・ネルソン | 2 | ○ | | ○ | 国際日本学と合同： 国際日本学演習Ⅱ |
| 日本文学・国際日本学基礎演習 | 本塚 亘 | 2 | | | | 国際日本学と合同 ※研修生、委託研修生、特別研 修生、修士1年生のみ履修可 |
| 日本文学・国際日本学論文作成 基礎実習 | 金子 広幸 | 2 | | | | 国際日本学と合同 ※研修生、委託研修生、特別研 修生、修士1年生のみ履修可 |

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2022年度休講です。

3. 講義概要（シラバス）

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

人文科学研究科日本文学専攻では、2017年度より、博士後期課程においてコースワークおよび科目の単位制を導入しました。これに伴い、2017年度以降入学者と2016年度以前入学者では修了要件が異なりますので、ご注意ください。

【2017年度以降入学者】

(1) 修了要件

課程修了には、3年以上在学し、以下の修了所要単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。

| 履修区分 | 修了所要単位 | 備考 |
|--------|--------|---|
| 必修科目 | 12単位 | 履修にあたっては、下記「(2) カリキュラムおよび履修上の指示」を参照のこと。 |
| 選択必修科目 | 8単位以上 | |
| 合計 | 20単位以上 | |

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

①必修科目の履修について

| 科目名 | 単位 | 履修上の指示 |
|------------|----|---|
| 日本文学特殊演習 A | 2 | 指導教員が担当する「日本文学特殊演習 A・B」で修了所要単位を満たすこと。(修了所要単位に含めることができるのは12単位まで) |
| 日本文学特殊演習 B | 2 | |

②選択必修科目の履修について

指導教員以外が担当する科目を履修してください(指導教員の担当する科目を履修し単位を修得しても修了単位としません)。

同一名称の授業科目を重複履修することはできません。

修士課程と合同授業です。下表を参照してください。

| 科目名 | 合同科目名 | 単位 |
|---------------|-----------------|----|
| 日本文芸学特殊研究 A | 修士：日本文芸学 A | 2 |
| 日本文芸学特殊研究 B | 修士：日本文芸学 B | 2 |
| 日本文芸批評史特殊研究 A | 修士：日本文芸批評史 A | 2 |
| 日本文芸批評史特殊研究 B | 修士：日本文芸批評史 B | 2 |
| 日本古代文芸特殊研究 A | 修士：日本古代文芸原典研究 A | 2 |
| 日本古代文芸特殊研究 B | 修士：日本古代文芸原典研究 B | 2 |
| 日本中世文芸特殊研究 A | 修士：日本中世文芸原典研究 A | 2 |
| 日本中世文芸特殊研究 B | 修士：日本中世文芸原典研究 B | 2 |
| 日本近世文芸特殊研究 A | 修士：日本近世文芸原典研究 A | 2 |
| 日本近世文芸特殊研究 B | 修士：日本近世文芸原典研究 B | 2 |
| 日本近代文芸特殊研究 A | 修士：日本近代文芸原典研究 A | 2 |
| 日本近代文芸特殊研究 B | 修士：日本近代文芸原典研究 B | 2 |
| 日本言語学特殊研究 A | 修士：日本言語学原典研究 A | 2 |
| 日本言語学特殊研究 B | 修士：日本言語学原典研究 B | 2 |
| 能楽作品特殊研究 A | 修士：能楽作品研究 A | 2 |
| 能楽作品特殊研究 B | 修士：能楽作品研究 B | 2 |
| 能楽資料特殊研究 A | 修士：能楽資料研究 A | 2 |
| 能楽資料特殊研究 B | 修士：能楽資料研究 B | 2 |

③人文科学研究科博士後期課程他専攻科目の履修について

人文科学研究科博士後期課程他専攻の設置科目は、修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。

④修士課程科目の履修について

修士課程設置科目は、修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

【2016年度以前入学者】

(1) 修了要件

2017年度以降も修了要件に変更はありません。課程修了には、3年以上在学し、論文指導科目を計6科目以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

①論文指導科目の履修について

2016年度まで開講していた論文指導科目は、2017年度以降は開講しません。以下の表に従って履修してください。

たとえば、1年次に「日本文学特殊講義A・B」を修得済みの方は2年次以降「日本文学特殊演習A・B」を履修し修了要件を満たしてください。

なお、2017年度より単位制を導入しますが、2016年度以前入学者については、単位数による修了要件の計算はいたしません。

《(旧) 2016年度までの論文指導科目》 ※廃止科目

| 履修区分 | 単位 | 履修区分 | 単位 |
|------------|----|------------|----|
| 日本文学特殊講義 A | — | 近代文学特殊講義 A | — |
| 日本文学特殊講義 B | — | 近代文学特殊講義 B | — |
| 日本文学特講演習 A | — | 近代文学特講演習 A | — |
| 日本文学特講演習 B | — | 近代文学特講演習 B | — |
| 日本文学特殊研究 A | — | 能楽論 A | — |
| 日本文学特殊研究 B | — | 能楽論 B | — |
| 日本文学特殊演習 A | — | 日本語学特殊講義 A | — |
| 日本文学特殊演習 B | — | 日本語学特殊講義 B | — |

《(新) 2017年度以降設置する論文指導科目》 ※新設科目

| 科目名 | 単位 | 履修上の指示 |
|------------|----|------------------------------------|
| 日本文学特殊演習 A | 2 | 指導教員が担当する科目で修了要件を満たすこと。 (重複履修可) |
| 日本文学特殊演習 B | 2 | |

② 2017年度新設科目の履修について

修了要件外の科目として、以下の科目を履修することができます。同一科目名を重複履修できません。なお修士課程と合同授業です。

| 科目名 | 合同科目名 | 単位 |
|---------------|-----------------|----|
| 日本文芸学特殊研究 A | 修士：日本文芸学 A | 2 |
| 日本文芸学特殊研究 B | 修士：日本文芸学 B | 2 |
| 日本文芸批評史特殊研究 A | 修士：日本文芸批評史 A | 2 |
| 日本文芸批評史特殊研究 B | 修士：日本文芸批評史 B | 2 |
| 日本古代文芸特殊研究 A | 修士：日本古代文芸原典研究 A | 2 |
| 日本古代文芸特殊研究 B | 修士：日本古代文芸原典研究 B | 2 |
| 日本中世文芸特殊研究 A | 修士：日本中世文芸原典研究 A | 2 |

| 科目名 | 合同科目名 | 単位 |
|--------------|-----------------|----|
| 日本中世文芸特殊研究 B | 修士：日本中世文芸原典研究 B | 2 |
| 日本近世文芸特殊研究 A | 修士：日本近世文芸原典研究 A | 2 |
| 日本近世文芸特殊研究 B | 修士：日本近世文芸原典研究 B | 2 |
| 日本近代文芸特殊研究 A | 修士：日本近代文芸原典研究 A | 2 |
| 日本近代文芸特殊研究 B | 修士：日本近代文芸原典研究 B | 2 |
| 日本言語学特殊研究 A | 修士：日本言語学原典研究 A | 2 |
| 日本言語学特殊研究 B | 修士：日本言語学原典研究 B | 2 |

③修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

④中間発表会について

11月～12月に「博士後期課程研究中間報告会」が開催されます。

2. 授業科目担当者一覧

| 授業科目 | 担当教員名 | 単位 | 連続 | 重複 | 他専攻 | 備考 |
|---------------|-------------|----|----|----|-----|---|
| 日本文学特殊演習 A | 加藤 昌 嘉 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 加藤 昌 嘉 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | 伊海 孝 充 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 伊海 孝 充 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | スティーヴン・ネルソン | 2 | ○ | | | 国際日本学と合同： 国際日本学研究Ⅰと合同 |
| 日本文学特殊演習 B | スティーヴン・ネルソン | 2 | ○ | | | 国際日本学と合同： 国際日本学研究Ⅱと合同 |
| 日本文学特殊演習 A | 中丸 宣 明 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 中丸 宣 明 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | 藤村 耕 治 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 藤村 耕 治 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | 山中 玲 子 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 山中 玲 子 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | 小林 ふみ子 | 2 | ○ | | | 国際日本学と合同： 国際日本学研究Ⅰと合同 |
| 日本文学特殊演習 B | 小林 ふみ子 | 2 | ○ | | | 国際日本学と合同： 国際日本学研究Ⅱと合同 |
| 日本文学特殊演習 A | 宮本 圭 造 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 宮本 圭 造 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | 田中 和 生 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 B | 田中 和 生 | 2 | ○ | | | |
| 日本文学特殊演習 A | 尾谷 昌 則 | 2 | ○ | | | 国際日本学と合同： 国際日本学研究Ⅰと合同 |
| 日本文学特殊演習 B | 尾谷 昌 則 | 2 | ○ | | | 国際日本学と合同： 国際日本学研究Ⅱと合同 |
| 日本文芸学特殊研究 A | 一柳 廣 孝 | 2 | | | ○ | 修士と合同：日本文芸学 A |
| 日本文芸学特殊研究 B | 一柳 廣 孝 | 2 | | | ○ | 修士と合同：日本文芸学 B |
| 日本文芸批評史特殊研究 A | 田中 和 生 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本文芸批評史 A 国際日本学と合同： [修士] 近代の文芸批評Ⅰ |

| 授業科目 | 担当教員名 | 単位 | 連続 | 重複 | 他専攻 | 備考 |
|--------------|---------|----|----|----|-----|---|
| 日本文芸批評史特殊研究B | 田 中 和 生 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本文芸批評史B 国際日本学と合同： [修士] 近代の文芸批評II |
| 日本古代文芸特殊研究A | 坂 本 勝 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本古代文芸原典研究A 国際日本学と合同： [修士] 神話と歌I |
| 日本古代文芸特殊研究B | 坂 本 勝 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本古代文芸原典研究B 国際日本学と合同： [修士] 神話と歌II |
| 日本中世文芸特殊研究A | 阿 部 真 弓 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本中世文芸原典研究A 国際日本学と合同： [修士] 書誌学と文献学I |
| 日本中世文芸特殊研究B | 阿 部 真 弓 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本中世文芸原典研究B 国際日本学と合同： [修士] 書誌学と文献学II |
| 日本近世文芸特殊研究A | 小 林 ふみ子 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本近世文芸原典研究A 国際日本学と合同： [修士] 江戸の文芸と文化I |
| 日本近世文芸特殊研究B | 小 林 ふみ子 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本近世文芸原典研究B 国際日本学と合同： [修士] 江戸の文芸と文化II |
| 日本近代文芸特殊研究A | 中 丸 宣 明 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本近代文芸原典研究A |
| 日本近代文芸特殊研究B | 中 丸 宣 明 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本近代文芸原典研究B |
| 日本言語学特殊研究A | 間 宮 厚 司 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本言語学原典研究A 国際日本学と合同： [修士] 国際日本学演習I |
| 日本言語学特殊研究B | 間 宮 厚 司 | 2 | | | ○ | 修士と合同： 日本言語学原典研究B 国際日本学と合同： [修士] 国際日本学演習II |
| 能楽作品特殊研究A | 山 中 玲 子 | 2 | | | ○ | 修士と合同：能楽作品研究A |
| 能楽作品特殊研究B | 山 中 玲 子 | 2 | | | ○ | 修士と合同：能楽作品研究B |
| 能楽資料特殊研究A | 宮 本 圭 造 | 2 | | | ○ | 修士と合同：能楽資料研究A |
| 能楽資料特殊研究B | 宮 本 圭 造 | 2 | | | ○ | 修士と合同：能楽資料研究B |

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2022年度休講です。

3. 講義概要 (シラバス)

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>